

『図解 航空レーザ計測 -基礎から応用まで-』

目次

第1章 緊急時に備える

第2章 航空レーザ測量の解説

2.1 航空レーザ計測の概要

2.2 航空レーザデータの種類

2-2-1 オリジナルデータ

2-2-2 グラウンドデータ

2-2-3 グリッドデータ

2-2-4 その他のデータ

2.3 航空レーザ計測に使用するプラットフォーム

2-3-1 固定翼

2-3-2 回転翼

2-3-3 固定翼・回転翼のメリットデメリット

2.4 最新の航空レーザシステム

2-4-1 ウェブフォーム

2-4-2 航空レーザ測深(グリーンレーザ)

2.5 複合センサシステムの紹介

2-5-1 パイパースペクトルサンサ

2-5-2 高解像度デジタルカメラとの融合

第3章 航空レーザデータを利用する

3.1 航空レーザ測量整備範囲を検索と利用

3.2 基盤地図情報のデータを利用する

第4章 利活用を支援する微地形表現図とは

4.1 汎用的な微地形表現方法

4.2 陰陽図

4.3 赤色立体画像

4.4 ELSAMAP(エルザマップ:カラー標高傾斜図)

4.5 地形起伏図

4.6 凸凹イメージマップ

第5章 災害対策における利活用事例

第6章 災害時の緊急計測

6.1 緊急撮影及び緊急航空レーザ測量に関する協定の背景

6.2 緊急撮影協力協定の特徴

6.3 国土地理院以外の緊急撮影等の協定

6.4 緊急撮影等の状況

6.5 今後の課題

6.6 まとめ

第7章 国内で使用されている航空レーザ測量システム一覧

執筆者一覧

公益財団法人日本測量技術調査協会 レーザ WG 参加社一覧